

【まちづくりの目標】誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

【政策】未来を創る人材を育むまちづくり

基本施策	No.	評価指標	指標の説明	種	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	内部評価		担当課		
														評価	評価コメント（課題・今後の方向性等）			
(1101) 結婚・出産・子育て支援	1 鳥取市の合計特殊出生率	一人の女性が一生に産む子どもの平均数として算出された当該年の人口統計上の数値。	目標値	-	-	-	-	-	1.57	1.60	1.62	1.65	1.67	②概ね順調	合計特殊出生率は、平成30年以降概ね1.5前後で推移していたが、令和5年から低下し、令和6年は市試算値で1.32となった。 合計特殊出生率低下の社会経済要因として、未婚率や初婚年齢の上昇、夫婦の子ども数の減少、若年層の転出超過が考えられ、「結婚への意欲・機会の減少」「経済的・生活基盤の弱さ」「仕事と家庭の両立の困難さ」「育児負担の重さ」「魅力的な就業機会の不足」などの影響を受けていると見える。 少子化の要因をしっかりと踏まえて、若者の意見を取り入れた実効性のある施策を実施し、長期的な視点で少子化対策に取り組む。 ※令和6年の県内市町村別の合計特殊出生率の県公表は、今年度後半になる見込みのため、評価は市試算値で実施する。	地方創生推進室		
			実績値	-	1.50	1.48	1.54	1.49	1.55	1.40	1.32							
			達成率	%	-	-	-	-	94.9%	96.9%	86.4%	80.0%						
	2 「子育てを楽しい」と思う市民の割合		目標値	%	-	-	-	-	-	-	-	70.0	-	②概ね順調	令和6年度に実施した市民アンケートでは、子育てを楽しいと感じている方は61.1%であった。 「子育てを楽しい」と感じていただくためには、子育ての不安の解消や負担の軽減を図る取組が必要であり、令和4年度よりスタートした「子育てアプリ」での子育てに関する情報発信、令和6年度に設置した「こども家庭センター（こそだてらす）」による妊娠期から子育て期を通じた切れ目のない相談支援、また、子育て支援センターによる相談支援などを今後も継続していく。			
			実績値	%	-	66.0	-	-	-	-	-	61.1	-					
			達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	87.3%	-					
	3 「子育てしやすい環境」と思う市民の割合		目標値	%	-	-	-	-	-	-	-	65.0	-	③やや遅延	令和6年度に実施した市民アンケートでは、「鳥取市は子育てをしやすい」と思われる方が48.2%であった。 同アンケートにおいて子育てしやすい環境に必要なものとして「子育てに係る経済的支援の充実」や「保育施設等保育環境の充実」などが挙げられており、妊産婦に係る給付事業や小児医療費の無償化などの経済的支援、こども誰でも通園制度といった成育環境の整備を今後も継続していく。			
			実績値	%	-	61.5	-	-	-	-	-	48.2	-					
			達成率	%	-	-	-	-	-	-	-	74.2%	-					